

福祉NPO グループみずほ

<発行> 福祉NPO グループみずほ 理事長：白井 英子
〒354-0018 富士見市西みずほ台3-3-11ハイツみずほ台104号
電話：049-268-5333 FAX：049-268-5366

介護保険指定居宅介護支援事業所
介護保険指定訪問介護サービス事業所
介護保険指定介護予防訪問介護サービス事業所
住民参加型在宅福祉サービス団体

障害福祉サービス指定居宅介護事業所
障害者地域生活支援事業・移動支援事業登録団体
富士見市障害児・者生活サポート事業登録団体
三芳町心身障害者サポート事業登録団体

“リスクアセスメント”を知っていますか？ (介護者Y. 恵子)

昨年2月長年勤務した会社を早期退職した。定年まで働きたいと思っていたが、母の介護を現役のまま続ける事が難しい事を痛感し、1年かけて悩んだ末、苦肉の決断をした。今まで一線で働いてこられたのは、母や家族のバックアップがあったからこそであり、母が骨折をし、自力歩行が困難な身体になった今、自分がなすべき事は何か？母のために何をしたら良いのか？を問うた時に**退職⇒介護**以外うかばなかった。



私が担当していた仕事は、携帯電話基地局を作る工事の業務で、企画と資材の役割を担当していた。平成初めから全国の基地局は増加の一方であったため、在籍していた会社もそれに比例し、ずっと右肩上がりの超多忙状態が長期間続いた。今では誰でも当たり前のように持っている携帯電話がここまで進化するとは、だれも想像していなかった。土日、就業時間関係なしの生活。時間に関係なく働くのが当たり前の毎日であった。建設数拡大により仕事が増加し、関係の人達にもかなりの無理を言って仕事をしてきた。私と一緒に苦労してくれた当事の私のスタッフには、心より感謝している。携帯電話の将来を誰もが自分が背負っている思いで仕事をしていたと思う。現在ではかなり改善され、以前の様な異常な勤務状況はなくなったと聞いている。どんな工事であっても第一に重要なのは安全であり、小さなミスも見逃さず徹底した管理を要求させる。私が“リスクアセスメント”という言葉を目にしたのは、安全管理教育の中であった。

“リスクアセスメント”とは職場の潜在的な危険性又は有害性を見つけ出し、これを除去、低減するため手法。

工事の現場は危険を伴うことが多いため、安全に対する教育は徹底しなくてはならず、定期的に教育を行っている。“リスクアセスメント”を聞いたことがない方も大勢いるかも知れない。私にとっては、会社生活の中で自然に身についた考え方と言えると思う。(次ページへ続く)



“リスクアセスメント”を知っていますか？(前ページより)



では“リスクアセスメント”工事だけのものだろうか？私たちの生活の中にも、沢山の危険が潜んでいる。介護とて同じ、最も重要だと思う。

“リスクアセスメント”を知っているか？いないかでは、突然の困難にぶつかった時に対応が全く違って来る。介護される方も、お互いを思いやる気持ちがあれば、リスクを軽減する“リスクアセスメント”は必要であると云える。自然に“リスクアセスメント”を予知しているかも知れない。“リスクアセスメント”の教育を受けながら、ちょっとした心の油断からミスを犯した実例を、私の反省と共に紹介したい。

2011年3月11日午後2時46分東日本大地震により、日本中が大きな衝撃を受けた。私は業務監査のため、朝から仙台にある環境事務所と協力会社に同僚と共に向かっていた。手持ちの資料があり、日帰り出張であったため荷物は必要最小限に抑えて自宅を出発。日頃は何時どんな時に災害にあっても困らない様にと、片時も離さず持ち歩いていた災害用ポーチすら置いて出掛けた。

少しでも“リスクアセスメント”の文字が頭に浮かんだなら、重要な時に携帯電話の電池切れで困ることはなく、ラジオから情報を得ることも可能であり、停電の続く中、懐中電灯を使用することもできたと思う。私の携帯電話は初めに数回繋がっただけで、電池切れのためその後不通となってしまった。途中から連絡の取れない私を、会社と家族はとても心配したようだ。何とか連絡がついたのは、地震から4日目だった。

午後2時半、協力会社の会議室に到着。挨拶の後、監査内容と段取りを説明し始めたその瞬間、会議室にいた全員の携帯電話が緊急地震速報のため、大きく鳴り始めた。数秒後会議室の中は一転し、皆互いの顔を見ながら不安な面持ちの中しゃがみ込んだ。

立って等いられない。「普通じゃない！とにかくビルから出ましょう」協力会社の方の誘導指示に従い避難を始めた。事務所はビルの2階。余りの揺れのため、転げる様にしか階段を降りられない。やっとの思いでビルから避難した私達は、大通りの光景を見て愕然とする。コンクリートの道路が、大きく波打っていたのだ。その後指示に従い点呼をとり、不安な思いを抱いてそれぞれ連絡のつかない家族のもとに急ぎ帰って行った。私達は社長の好意に甘え、通常車で20分ほどの距離を4時間かけて仙台駅へと向かった。駅迄いけば何とかなると、まだ考えていた。ただ車のラジオからのニュースは信じられないような情報が溢れ車窓からの光景は目を疑うばかりであったが、日本人の素晴らしさに感激をする。信号が消えたままの大通りを譲り合いながら、事故も起こさず静かに進んでいた。歩道には会社のヘルメットを被った団体の人達、不安そうに家路に急ぐ人など。流石に皆の顔がいつもと違っていた。電気がついていたのは「仙台駅」と赤字でついていた駅のみであった。協力会社の社長が「自宅に是非来てください」と言ってくれたが、家族の安否確認も取れていない中申し訳なく、同僚が苦勞して予約をしてくれたホテル迄送ってもらった。予約といっても部屋は家具が散乱し泊まれる状態になく、ロビーに毛布を敷き雑魚寝をする状態で、サラリーマンや避難する場所を探す人でごった返していた。私達、旅行者だけではなく、地元の方で帰れなくなっていた人達も沢山避難をしていた。仙台は午後から雪が降っていて、ホテルに入れない出張者が店の軒先で雪を避けて立っている姿は気の毒であった。その後避難難民となりながら、やっと連絡の付いた会社の支店で炊き出しを手伝い、5日目に救援物資の帰りのトラックにて帰京する事が出来た。有難くも私が避難している間、東京では一日も早く帰京出来る様に手を打っていてくれたのだ。この経験は私の価値観を変え、改めて沢山の方の“力”を借りて生かされていると実感する事になった。

拙い私の体験を紹介させて戴いたが、誰でもが“リスクアセスメント”を意識する事で、少しでも災難を回避し、軽減する事が出来るかも知れない。私も“リスクアセスメント”を常に心掛け、母の介護を続けて行きたいと思う。幸せになるために大切にしたい事の一つであると、私は信じている。この機会に“リスクアセスメント”について、一考して戴けたらと思う。



(貴重な経験談をお聞かせ頂きありがとうございました。今後考えて参ります。)

*** 居宅介護支援利用者アンケート結果（回収率68%）**

1. 介護保険（契約・情報提供など）の対応について—意見など
①満足 45 ②普通 22 ③不満 なし ・情報が少ない
2. 現在のサービス利用について
①満足 43 ②普通 23 ③不満 1 ・介護保険制度に不満
・ どういサービスが受けらえるかわからない
3. ケアマネジャー訪問対応について
①満足 55 ②普通 12 ③不満 なし
4. 事務所の電話対応について
①満足 42 ②普通 22 ③不満 なし
5. サービスの変更・苦情等の対応について
①満足 36 ②普通 27 ③不満 なし
6. 新規・更新などに行われている担当者会議について
①満足 34 ②普通 24 ③不満 1 ・家族の希望だけでなく、提案が欲しい
7. 気になっていること等、気軽に相談が出来ますか
①出来ている 62 ②出来ていない 4 ・怒られそうなので相談できない
・ 月1回の訪問では相談できない



*** 訪問介護 利用者アンケート結果（回収率72.5%）**

1. 介護保険の制度について
①理解している 13 ②ほぼ理解 22 ③よくわからない 2 ④わからない 2 ⑤無記入 6
2. 介護保険制度の利用の仕方について
①満足 23 ②ほぼ満足 15 ③やや不満 2 ④不満 0 ⑤無記入 5
・ より良い利用の仕方があるのかもしれないが、提案してもらわないとわからない
・ 介護保険になって間もないためまだよくわからない
・ 時間的な不満あり。毎日だけでなく一時間を一時間半とか二時間にしてほしい。
・ 家族の介護を緩めるようにもう少し配慮してもらいたい。
3. グループみずほのヘルパー対応について
①満足 37 ②ほぼ満足 6 ③やや不満 1 ④不満 0 ⑤無記入 1
・ 時間が短すぎるので、頼みたい事があってもつい遠慮してしまう。
・ もう少し効率よく、かつ丁寧をお願いしたい。
4. サービスの変更、相談・苦情などの対応について
①満足 32 ②ほぼ満足 7 ③やや不満 1 ④不満である 1 ⑤無記入 4
・ 時間が短すぎる（一時間半に戻してほしい）
・ 車の手配について（断り方が説明不足）この時間ならオッケーですとかはっきり言ってほしい。
 だめならだめとはっきり言ってほしい。
・ どちらとも言えないが、こちらが口頭で依頼したこと等、ヘルパーさん同志または訪問看護師さんとの連絡、報告ができていいるのかな？など疑問に思うことがある。
・ サービスの変更相談したい時がある
5. 事務所対応について（電話の対応などを含む）
①満足 37 ②ほぼ満足 7 ③やや不満 0 ④不満 0 ⑤無記入 2
・ 電話を受けた方が、名前を言ってくるとこちらは話やすい。
・ 事務所の勤務時間を（何時から何時まで）開示して欲しい



*** お忙しい中アンケート調査にご協力頂きありがとうございました。制度、利用の仕方についてのご要望、改善点等は随時見直しをしておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。**

「アウター・インナーのあて方の研修に参加して」

最初に「アウター・インナーのあて方」に関するDVDを視聴し、それに沿って実際にヘルパー同士で、介護する側、される側、両方の立場に立った研修を行いました。私はこのDVDを見て、凄い衝撃を受けました。というのは、私が知っているアウター・インナーのあて方とはまるで逆といってもいい程違うものだったからです。

アウターとは「テープ付おむつや紙パンツなどの外側の物」
インナーとは「おむつのなかにあてるパット」を指します。

それはまずアウターを広げてから、細長い半分に折る。

(皮膚にあたる方が内側) 横向きになって頂き、アウターの真ん中を腰骨の真ん中にあて、ずれないようにしっかり押さえる。少しだけ広げて、アウターを奥に入れる。

次に横向きのまま膝の間から折ったアウターを引き出す。仰向きになって頂き、アウターテープを左右に出す。この時同じ長さになっているか確認。この方法で行うと高い確率で同じ長さになる。インナーを股間から臀部にかけて入れる。最後に膝の間から出した折ってあるアウターの左右のギャザーにそれぞれ親指を沿わせ、上に持ち上げるように移動させる。お腹のところまで持ってくる、そしてテープを下から止める。上体を起こす、ベッドを起こす時に苦しくならないように、アウターのお腹の吸収面ではない部分を内側、或いは外側に折る。この方法は、インナーもしっかりギャザーの中に入り、ギャザーが立って漏れなくなり、アウターを何度も上下左右と直さずに出来るというものでした。(お茶の水ケアサービス学院の研修を参考にしました。)

研修後、利用者様とご家族の了解を得て、初めてこの方法でおむつ交換をさせて頂きました。研修で習得したこの方法でスムーズに利用者様に負担なく出来た方と、ある部分は少し難しく、別の方法を取り入れた方がいいと思われる方もいらっしゃるなど、全てがうまくいく結果ではありませんでした。

おむつを使われる方は皆様同じ状態ではないので、今回の研修で学んだ方法が全ての方にあてはまる方法ではないことを実感しました。おむつのあて方は様々あります。利用者様に負担なく、快適に過ごしていただけるよう日々勉強し、その方に合った方法を実践していきたいと思えます。



「訪問介護ヘルパー」 求人説明会開催！

平成26年3月29日（土） 10時～12時

事務所（西みずほ台3-3-11 ハイツみずほ台104号）

急募

「訪問介護ヘルパー」勤務条件

資格： 初任者研修修了者・2級ヘルパー以上

勤務： 勤務日、勤務時間は相談に応じます

時給： 1,200円

（移動費支給・電動自転車貸与・その他福利厚生充実）



お電話下さい！

TEL: 049-268-5333（佐藤）

「ケアマネジャー」同時募集中！

（常勤・非常勤 詳細要相談） 担当：臼井

寄付金御礼



高末様・半田様・伊豆野様・和田様・他1名様よりご支援を賜りました。有難うございました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

活動状況(2013年7月～2013年12月)

	居宅介護支援						介護予防業務委託					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	88	89	87	87	90	90	12	13	12	10	10	10

	助け合い						訪問介護						介護予防訪問介護					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用人数(人)	11	10	13	9	13	13	50	47	47	48	47	45	19	20	19	19	19	18
時間(時)	38.8	25.8	28.0	19.5	28.3	29.3	457.6	451.8	441.5	491.3	455.0	423.5	107.8	100.5	97.0	105.5	99.8	93.0

	障害福祉サービス						移動支援						障害児(者)生活サポート					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用人数(人)	9	9	10	12	10	11	0	1	0	0	0	1	10	5	11	11	11	10
時間(時)	165.5	129.0	125.8	143.8	135.8	128.3	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	3.0	57.5	19.5	49.0	60.0	53.0	42.0

〈編集後記〉ソチオリンピック、パラリンピックが閉幕しました。涙を流し、辛い練習に耐え、本番に挑んだ選手の姿に胸が熱くなりながら観戦しました。オリンピックにいると言われる魔物。それは自分だという人もいますが、魔物の正体は…3月〇日伊豆半島の花粉情報は「非常に多い!」、高齢の母を連れ出す旅がスタートしました。車が静岡に入ったとたん長男の花粉症の症状が悪化し、熱海の梅園、河津桜は車窓からの見学…この季節暖かくなり嬉しい反面、花粉症の方は辛いと思います。が、暖かいと何か良い事が起こる気がしてワクワクします。皆様にとって何か良いことがありますように。（理事：佐藤）

